

2013年9月17日

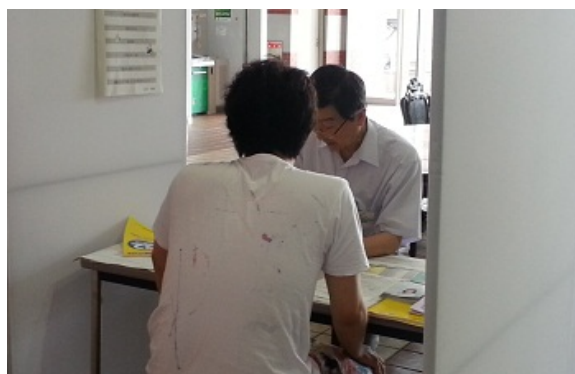
医療系総合大学として禁煙に向き合う キャンパス内全面禁煙 実施

広島国際大学（学長 秋山實利）は、今秋9月27日（金）から、キャンパス内を全面禁煙にいたします。学生の健康も守り、「こころに届く医療」を実践できる医療人を養成する本学にとって、この取り組みは大学あげての一大事業と位置づけています。

これまでも実施してきた 禁煙に関するさまざまな取り組み

禁煙についての取り組みは、これまでもさまざまな形で実施してまいりました。その軸となってきたのが、2004年度より行ってきた禁煙推進・マナー向上キャンペーンです。健康で秩序あるキャンパスライフならびにクリーンなキャンパスを実現することを目的として、毎年5月と11月を「禁煙推進・マナー向上強化月間」に設定し、パトロール隊を結成してキャンパス内のパトロールを行っています。

また学生・教職員が禁煙に関する知識を深める機会を提供するために、定期的に禁煙推進に関する講演会を実施するとともに、医療系総合大学ならではのいえる取り組みとして、医師でもある本学教員が喫煙習慣などに関してアドバイスする場を設けるなど、多様な啓蒙活動に取り組んでまいりました。



↑ 禁煙パトロールや喫煙者の喫煙習慣などに関するアドバイスの様子

全面禁煙にかける思い

今回のキャンパス内全面禁煙の推進者である学生部長の加賀谷有行（医療福祉学部医療福祉学科教授）は、「本学の合言葉「いのちのそばに。ひととともに。」にもあるように、本学学生の皆さんは卒業時には、命の尊厳を理解し真心を持って他者を尊重できる豊かな人間性を身につけた専門職業人となることが求められています。今回のキャンパス内全面禁煙をきっかけにして、喫煙者も非喫煙者も、なぜ喫煙するのか、喫煙という行為が周囲の人にどのような影響を及ぼすかをもう一度真摯に考えていただきたいと思います。そして、自分自身の健康のためにも周囲の人々の健康のためにも、多くの喫煙者が禁煙に成功できれば嬉しく思います。喫煙者の禁煙チャレンジについては、私も精いっぱいお手伝いします。」と、その思いを語ります。

学内でのバックアップ体制も整備

キャンパス内全面禁煙に先立ち、全学生・教職員を対象に、「禁煙支援レター」と題したメールマガジンの配信を始めているとともに、これを機に禁煙に取り組もうと思っている人やこれまで禁煙にトライしたが失敗に終わって自信をなくしている人に、長期に継続して実施する禁煙マラソンという禁煙プログラムなどを紹介したり、禁煙活動のアドバイスをを行うなど、学生部や保健室で個別カウンセリングを行います。このように、単なるキャンパス内全面禁煙に止まらず、学内でのバックアップ体制を整備いたしました。

今回の全面禁煙とともに、引き続き禁煙にかかる各種啓蒙活動を継続・実施していくことで、快適なキャンパスづくりを推進してまいります。

※報道各社の皆様には、ぜひ取材にお越しいただきたくよろしく願いいたします。

■内容に関するお問い合わせ先

広島国際大学 医療福祉学部（加賀谷） TEL：0823-70-4618

■取材の申し込み先・本件発信部署

広島国際大学 企画課（坂井） TEL：0823-70-4922

添付文書 なし 発信枚数：本書含め2枚